

ぱーとなーしゅぷ

第22号
2025年2月
発行



出雲市男女共同参画まちづくりネットワーク会議は、
お互いを認め合い、支え合い、共に個性を発揮できる
「男女共同参画社会」を目指して活動しています。



目次
P2・・・イクボス活用セミナー報告
P3・・・いずも産業未来博 2024 ブース出展報告
P4・・・イクボス企業紹介(島根中央信用金庫)



今年度 事業報告

出雲市男女共同参画まちづくりネットワーク会議 会長 内藤正和

出雲市男女共同参画まちづくりネットワーク会議では、令和6年度事業として令和6年10月8日(火)に『イクボス活用セミナー～職場での適切な人間関係とは～』と題して講演と意見交換等をさせていただきました。

講演では、hana社労士事務所所長 門永真理子様をお招きし、ハラスメントの種類やハラスメントに該当する具体的な行動などについての基礎的な知識とハラスメントが発生する心理的なメカニズムを学び、それぞれの組織でハラスメントを起こさない為のコミュニケーション方法等をお話いただきました。

意見交換では、異業種の方との職場についての現状や課題、問題等をお話いただけたことで、ハラスメント防止はゴールではなく、よりよい職場を作るためのプロセスであり、この度の事業にご参加いただいた方にとって働きやすい職場環境を作るヒントとなりました。

今後も出雲市男女共同参画まちづくりネットワーク会議では、出雲市内で活動している企業・個人・各団体が交流しながら、啓発事業や情報共有・情報発信をしていきたいと考えておりますので、活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。



会員募集中！

出雲市男女共同参画まちづくりネットワーク会議は、市と協働で男女共同参画社会のまちづくりを行う“市民ボランティア団体”です。(年2回程度の事業を開催)

職種も肩書も年齢も性別も違う様々なメンバーと交流することで、新しい人脈ができます♪
会費は無料！出雲市内の団体・個人どなたでも入会できます。問合せ先 ☎22-2055(事務局)



活動報告①

イクボス活用セミナー ～職場での適切な人間関係とは～

日 時：10月8日(火)14:00～16:00
 会 場：出雲科学館
 参加者：市内企業経営者、管理職、人事担当者等 53名



昨年度に引き続き、イクボスへの理解とワーク・ライフ・バランスを推進するためのセミナーを開催しました。

近年、ハラスメントへの意識が年々高まってきていることから、今年度はテーマを「ハラスメント」にしたところ、様々な業種の方にご参加いただきました。

講演：「職場のハラスメントやバイアスについて」

講師：hana 社労士事務所 所長 門永 真理子 氏



松江市で社労士として活躍中の門永講師が「ハラスメントの知識」と「企業のハラスメント防止対策」、「パワハラ具体例」を解説。

次に、職場での適切な人間関係の在り方や、「逆パワハラ」や「パワハラがおこりにくい風土づくりのためにできること」についてお話していただきました。

パワハラにならない指導のポイントとして、以下のことを挙げられました。

- ①具体的な行動に焦点をあて、人格、性格の否定をしない(過去の行動を何度も繰り返さない)
- ②感情的にならない(怒りはどこから?)
- ③どのように伝わったかを確認する・・・指示や注意がどのように伝わったかを確認する
- ④状況に応じた環境で指導する
- ⑤部下の成熟度別にスタイルを変える

また、職場での思い込みや、気づくことの大切さについても教えていただき、参加者はメモを取ったり、頷いたりしながら、熱心に聞き入っていました。

コミュニケーションワーク



自己紹介とコミュニケーションワーク
 テーマは最近褒められたことです

意見交換



「刺激になった」
 「他業種の方と交流ができて良かったこの声がありました」

質疑応答



参加者からの質問に門永講師が丁寧に答えてくださいました

【アンケートより】

- ★ハラスメントがテーマだったのでネガティブなイメージで考えていましたが、自社の魅力を向上させるアイデアにつながる気づきが得られました。
- ★人の心が暴言、いじめをやっている。心をどう変化させるのか難しいところですが、少しでも働きやすい職場を目指していきたいと思えます

イクボス推進のためには、職場の「**心理的安全性**」を高めることが不可欠です。あなたもイクボス宣言をして、働きやすい職場づくりに取り組んでみませんか？



活動報告②

「いずも産業未来博 2024」にブース出展をしました！

日時：11月9日(土)、10日(日)10:00～16:00
 会場：出雲ドーム
 主催：いずも産業未来博実行委員会／出雲市
 来場者：16,500人(2日間)



〇×ゾーンへ移動して
クイズに回答

男女共同参画の啓発を行うため、いずも産業未来博のブースにて「家事クイズ」を行いました。
 ブースには、2日間で338人が参加。年齢・性別を問わず、たくさんの方に家事について楽しく学びました。



家事クイズ あなたは何問答えられるかな？

- 第1問 そうめんをゆでる時に入れる水を「ビックリ水」という
- 第2問 魚を煮る時には牛乳を入れる
- 第3問 ゆで卵を作る時は、冷蔵庫から出してすぐにゆでる
- 第4問 服に血がついた時は、お湯で洗う
- 第5問 床に新聞紙を置くと洗濯物が早く乾く
- 第6問 靴下は逆さまに干す
- 第7問 フローリングを掃除する時は、先にシートで拭いておく
- 第8問 よく晴れた日に窓掃除をしたほうが良い
- 第9問 歯磨き粉でシンクの汚れがおちる
- 第10問 「はちみつ」は赤ちゃんに食べさせてはいけない

- 第11問 生卵は先がとがっている方を下に向けて冷蔵庫に入れる
 - 第12問 ジャガイモは太陽の光が当たる所に置く
 - 第13問 おでんの大根は電子レンジで温めてから煮ると良い
 - 第14問 洗濯洗剤を多く入れると汚れがよく落ちる
 - 第15問 布団を干すときにはダニをやっつけるために強く叩く
 - 第16問 クリーニングのビニール袋は取らずにタンスにしまう
 - 第17問 食器のスポンジは次使う時まで泡をつけたままにしておく
 - 第18問 お風呂の残り湯を洗濯の時に使うとキレイになる
 - 第19問 油性マジックが手についたらお酢で落とす
 - 第20問 赤ちゃんには虫歯菌がない
- <答> 1〇 2× 3× 4× 5〇 6× 7〇 8× 9〇 10〇
 11〇 12× 13〇 14× 15× 16× 17× 18× 19× 20〇

参考：福井県作成 家事クイズ

料理や掃除、洗濯などの家事を共同で行うことで、家族の絆が深まり、コミュニケーションの質も向上します。

性別役割分担意識(男は仕事、女は家事といった意識)を解消し、家族みんなで家事を行う「**家事シェア**」でhappyになるといいですね♪

参加者へはキッチンスポンジを贈呈。可愛いと好評♡



会員が“ハリーポッター”になってクイズを進行！参加者から「楽しかった」「ためになった」との感想がありました





イクボス企業紹介 島根中央信用金庫



出雲市では、市内にワーク・ライフ・バランスの機運を醸成させるため、令和4年度からイクボス宣言企業登録制度を創設し、イクボスに取り組んでいる出雲市の企業や事業所等を HP 等で紹介しています。

今回は、令和6年8月に出雲市イクボス宣言登録企業に認定された島根中央信用金庫人事部副部長の淀谷さんにお話をお聞きしました。

島根中央信用金庫

所在地:出雲市今市町(本店)

業種:金融業

従業員:従業員数:264名

正規職員:男性125名・女性99名

非正規職員:男性20名・女性20名

◆ イクボス宣言をしたきっかけは何ですか？

2023年の「イクボス活用セミナー」への参加が「イクボス宣言」を知るきっかけです。「どんな取り組みをすれば、部下職員が意欲的に働けるのだろうか？」と頭を悩ませていたので全ての職員が**仕事と私生活を楽しむ環境を整えば「こんな素敵なことはない!!」**と思い、職場に働きかけ、宣言しました。



淀谷さんは職場の育休取得第1号です

◆ イクボス宣言をされた後、何か変化はありましたか？

当庫オリジナルの「イクボスポスター」を各店舗の目に留まりやすい場所に掲示しています。イクボスの正しい理解につながり、残業時間の削減や有給休暇の取得率向上など、少しずつ実現できてきたかな？と思っています。企業説明会では、学生がイクボスに興味を示してくれました。採用やお客様へのPRにもなっています。



◆ イクボスやワーク・ライフ・バランスの取り組みについて、具体的に教えてください

ワーク・ライフ・バランスを実現するため行動計画をたて実行した結果、国や県・市の認定取得に繋がりました。(2023年度実績)



- ・有給取得日数 12.1日(取得率:65.1%)
- ・平均残業時間 6時間42分
- ・平均勤続年数 男性18年6ヶ月 女性15年1ヶ月 全体17年9ヶ月
- ・育児休業取得率 男性66.6% 女性100%



◆ 今後 さらに注力したい事や、新たに取り組みたい事はありますか？

12月30日に「中央しんきんわいわいスクール」を開校しました。年末年始は保育所や学校が休みなので、**職員が休暇を取りづらい状況を考慮し、女性休憩室や会議室でお子さんを預かりました。**

育児・介護など、さまざまな事情を抱えるチームメンバーが、それぞれ持てる能力を最大限発揮できる組織を目指しています。



↑理事長からドーナツをもらって嬉しそう♡お迎えが来ても帰りたくないお子さんもいたとか・

←こどもたちは女性休憩室のコタツでリラックス。職員は安心して働けました

◆◆◆ 淀谷さんからのメッセージ ◆◆◆

今の時代は、核家族や親世代が現役で働いている世代なので、子育てしながら働くのが難しい状況になっています。**働きやすい職場環境を作らなければ辞めてしまいます。**また、女性が活躍するためには、**男性が女性の体(生理や妊娠・出産・更年期など)を理解することが必要**です。そして、若手職員には私生活を充実させるためにも、**働きやすい職場環境作りに積極参加して欲しい**と思っています。



マスコットキャラクター「しまちゅう」

<編集・発行>

出雲市男女共同参画まちづくりネットワーク会議

事務局:出雲市男女共同参画センター(くすのきプラザ)

〒693-0011 島根県出雲市大津町2096-3

TEL:0853-22-2055 / FAX:0853-22-2157 / E-mail women@local.city.izumo.shimane.jp